

# 2024年卒の新社会人生活を表す漢字一文字、1位は「学」 「様々なことを学んで成長していると感じる」など前向きな意見

「マイナビ 2024年卒 入社半年後調査」

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:土屋芳明)は、2024年4月新卒入社の社会人を対象に実施した、「マイナビ 2024年卒 入社半年後調査」の結果を発表しました。

## TOPICS

- ◆ 2024年卒の新社会人生活を表す漢字一文字、1位は「学」【図1、2】
- ◆ 新社会人の18.6%は就活時より勤務先満足度が上昇【図3、4】
- ◆ 新社会人の2人に1人が勤務先のインターンシップ・仕事体験に参加。  
参加経験者の方が現在の勤務先満足度が4.2pt 高い結果に【図5、6、7、8】
- ◆ 新入社員の転職意向は過半数となるも前年より減少。  
転職意向には「働く時間の長さ」が影響か【図9、10、11】

## 【調査概要】

### 2024年卒の新社会人生活を表す漢字一文字、1位は「学」

今年の新社会人に、入社してから現在までの社会人生活を表した漢字一文字を聞くと、「学」が1位となった(前年2位)。選んだ理由は、「様々なことを学んで成長していると感じるから」「一年目は様々なことを吸収して学び続けなければならないと考えるから」など、生き生きと学びながら仕事に向き合う様子が見える。2位以下は「楽」「忙」「苦」「変」など、前年も上位だった漢字がランクインした。

彼らの就職活動時に自分の就職活動を漢字一文字で表すと何か聞いた際に1位となった漢字は「楽」だった\*。選んだ理由としては、「試行錯誤しながら取り組んだことに楽しさを感じた。」「初めてのことで手探りもあったが、結局楽しんでできたから。」といった回答が挙げられ、就職活動そのものにも楽しさを見出していた人もいたようだ。この「楽」という漢字は新社会人生活を表す漢字一文字でも2位にランクインしているが、1位の「学」は就職活動時のTOP10にはランクインしていない。社会人になって「学」びの多い環境に様変わりしたように感じている人が多いのだろう。【図1、2】

※マイナビ「2024年卒 学生就職モニター調査 8月の活動状況」

【図1】

●新社会人生活を表す漢字●						
24年卒・新社会人生活を表す漢字BEST10			24年卒・就職活動を表す漢字BEST10			
ランク		漢字	得票率	ランク	漢字	得票率
1	↑	学	6.94%	1	楽	5.16%
2	↓	楽	6.62%	2	苦	4.36%
3	→	忙	5.36%	3	耐	3.31%
4	→	苦	4.10%	4	努	2.39%
5	→	変	3.79%	5	疲	2.33%
6	↑	新	2.84%	6	辛	2.27%
7	NEW	無	2.52%	7	縁	1.96%
8	↑	疲	2.21%	8	忙	1.90%
8	↓	辛	2.21%	9	早	1.78%
10	NEW	早	1.89%	10	運	1.72%
10	→	難	1.89%			

【図 2】

●その漢字を選んだ理由●

24年卒・新社会人生活を表す漢字を選んだ理由		
漢字	業種	理由
学	アミューズメント・レジャー	様々なことを学んで成長していると感じるから。
学	ソフトウェア・情報処理・ネット関連	一年目は様々なことを吸収して学び続けなければならないと考えるから。
楽	官公庁・公社・団体・農協	仕事の内容や周りの環境などが恵まれており、常に楽しく仕事ができているため。
忙	総合商社	あっという間に日々が過ぎていくから。
苦	電気機器・電子機器・OA機器	大変なことが多かったから。
変	薬品・化粧品	初めての勤務地、職場環境で新しい変化があったと感じたから。

24年卒・就職活動を表す漢字を選んだ理由		
漢字	学部	理由
楽	経済科学部	試行錯誤しながら取り組んだことにやりがいを感じたとともに楽しさを感じた。
楽	現代社会学部	初めてのことで手探りもあったが、結局楽しんでできたから。
苦	理工学研究科	面接で落ち続けて苦しみ、研究が進まず苦しみ、時間のやりくりで苦しんだから。
耐	工学部	苦手なことでも自分の将来のために耐えなくてはいけないと思ったから。

「マイナビ 2024年卒 入社半年後調査」

**新社会人の 18.6%は入社後に勤務先の満足度が上昇**

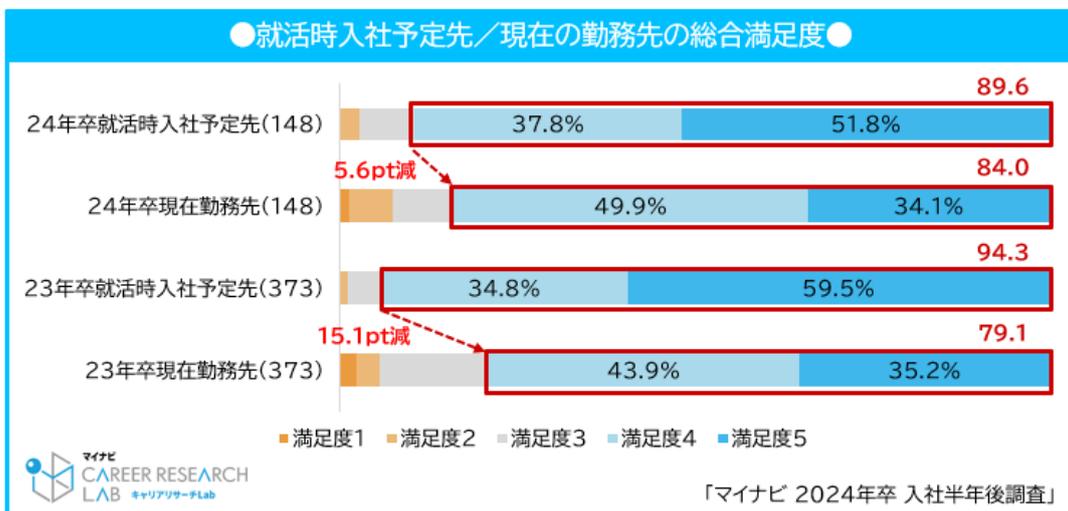
就活時の入社予定先企業の総合満足度と、入社半年後(10月調査時点)の勤務先の総合満足度を、それぞれ5段階で聞いた<sup>※1</sup>。就活時の入社予定先満足度が高い(満足度4・5)割合は89.6%と、前年より4.7pt減少した。一方、入社半年後の勤務先満足度が高い割合は84.0%と、前年より4.9pt増加している。入社後の満足度変化に着目すると、23年卒(入社後15.1pt減)より、24年卒(入社後5.6pt減)の方が入社後の満足度の減少幅が少なかった。

※1:勤務先満足度を、「不満である・やや不満である・どちらともいえない・やや満足している・満足している」の5段階で聞いた結果を、「満足度1・2・3・4・5」と表記

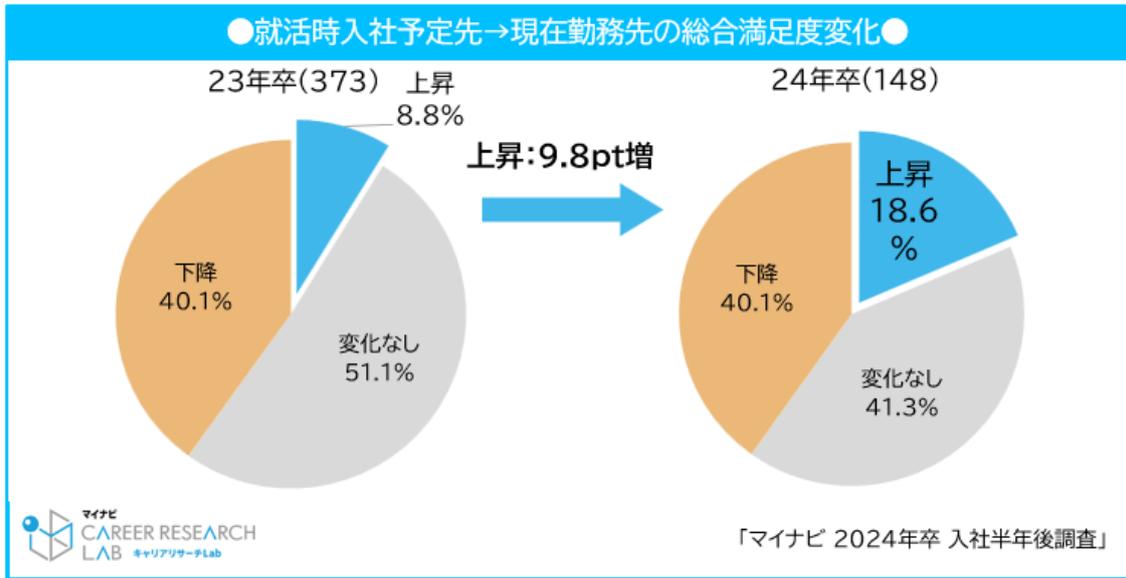
また入社前後で満足度が下降した割合は前年同値(40.1%)となったが、上昇した割合は18.6%(前年比9.8pt増)と、23年卒よりも入社後に満足度が上昇した人が多かった。一般的に入社直後はリアリティショック<sup>※2</sup>を感じやすいとされているが、24年卒は23年卒と比較してインターンシップ・仕事体験などの参加率も増加し、入社前の企業理解の機会の充実によって、リアリティショックが入社前に起こるケースもある。それにより就活時の満足度は低下するが、入社後のギャップが縮小すると推察される。【図3、4】

※2リアリティショック:現実と理想のギャップに衝撃を受けること。

【図 3】



【図 4】

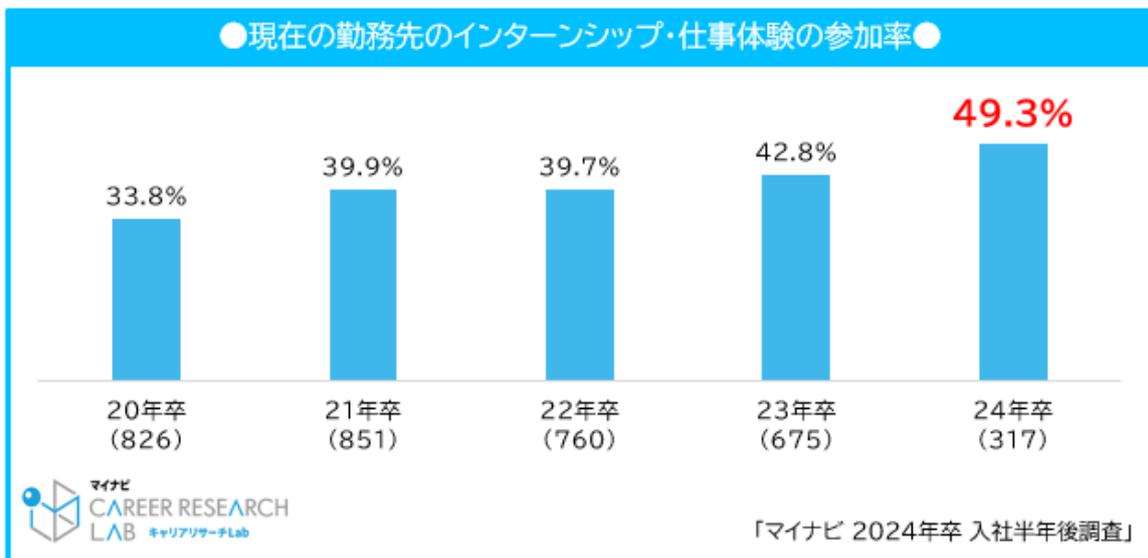


新社会人の 2 人に 1 人が勤務先のインターンシップ・仕事体験に参加  
参加経験者の方が現在の勤務先満足度が 4.2pt 高い結果に

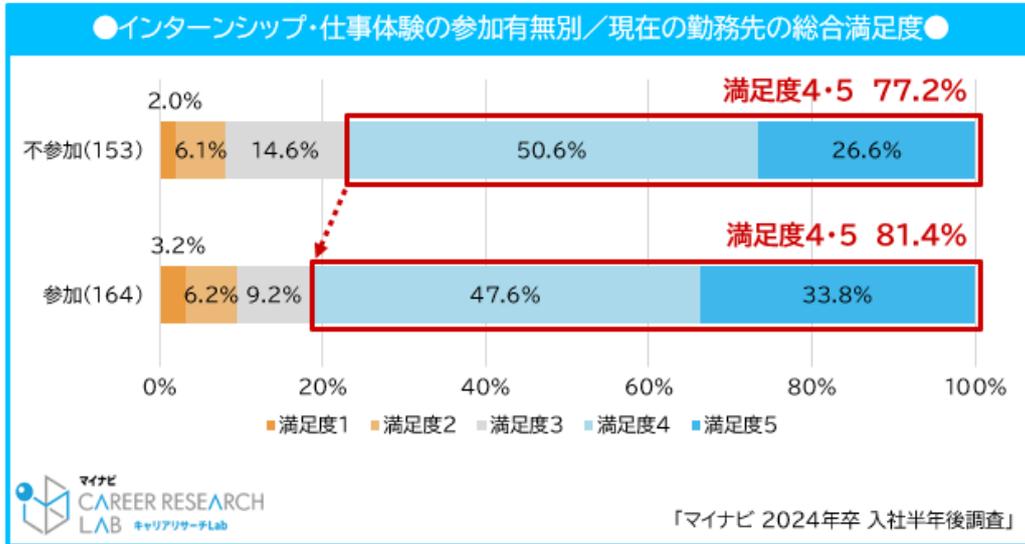
現在の勤務先のインターンシップ・仕事体験に参加した割合は 49.3%となり、調査を開始した 20 年卒以来、おおよそ右肩上がり増加している。インターンシップ・仕事体験の参加有無別に総合満足度を見ると、参加経験者の 81.4%が勤務先の満足度が 4 もしくは 5 だったのに対し、不参加者は 77.2%と、4.2pt の差があった。さらにインターンシップ・仕事体験の参加日数に注目すると、1 日よりも 2 日以上の参加者の方が満足度 4 もしくは 5 を選択した割合が多い。

総合満足度別に参加した内容についてみると、「グループワーク(企画立案、課題解決、プレゼンなど)」はいずれにおいても割合が高かったが、満足度 5 と 3 以下で最も差があったのは「実際の仕事のシミュレーション体験」の参加有無で、その差は 23.9pt となった。インターンシップ・仕事体験に複数日程で参加したり、実際の業務に近いプログラムを経験したりすることで、企業理解が深まり、その後の勤務先満足度にも影響していると考えられる。【図 5、6、7、8】

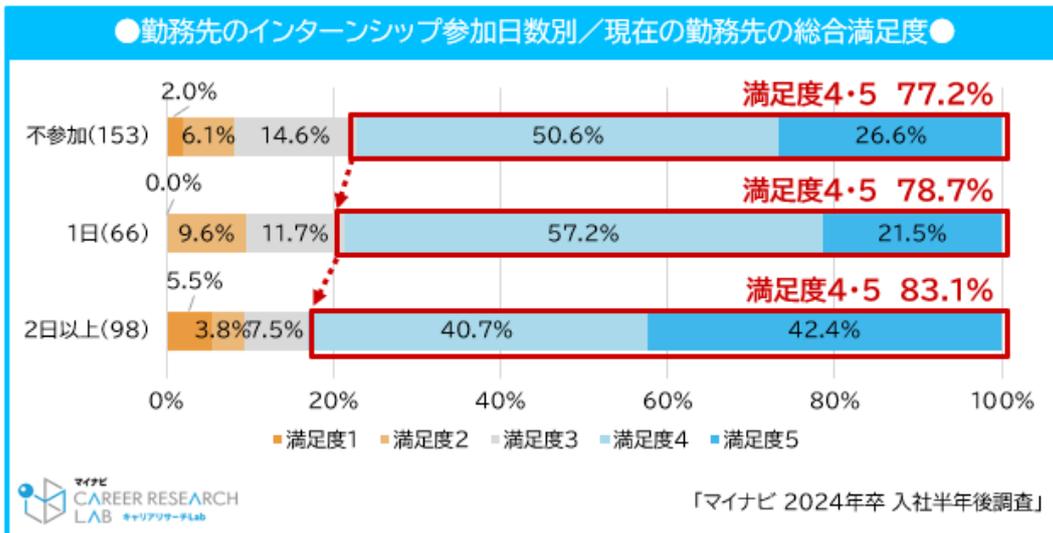
【図 5】



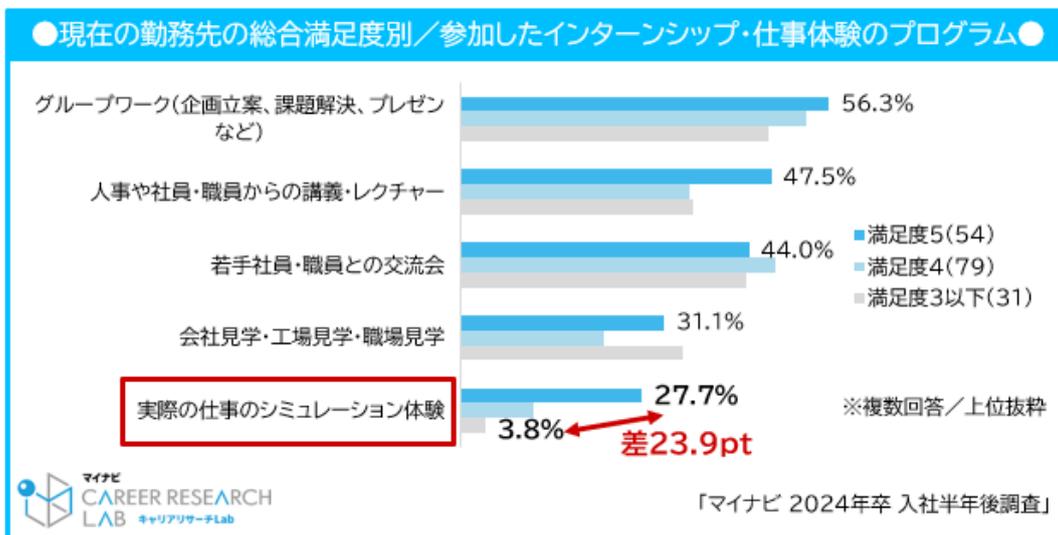
【図 6】



【図 7】



【図 8】

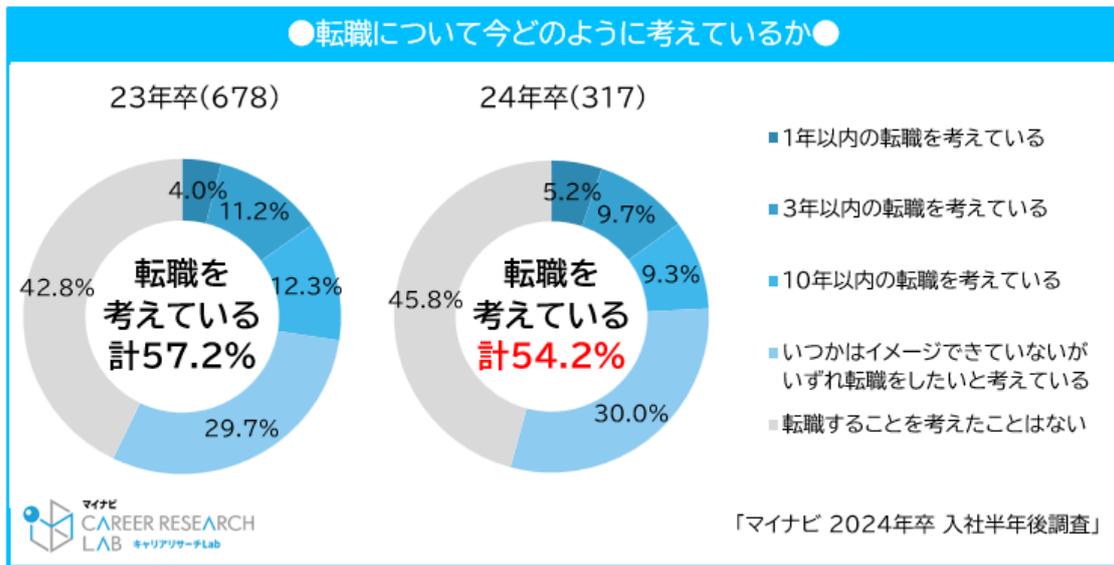


**新入社員の転職意向は過半数となるも前年より減少**  
**転職意向には「働く時間の長さ」が影響か**

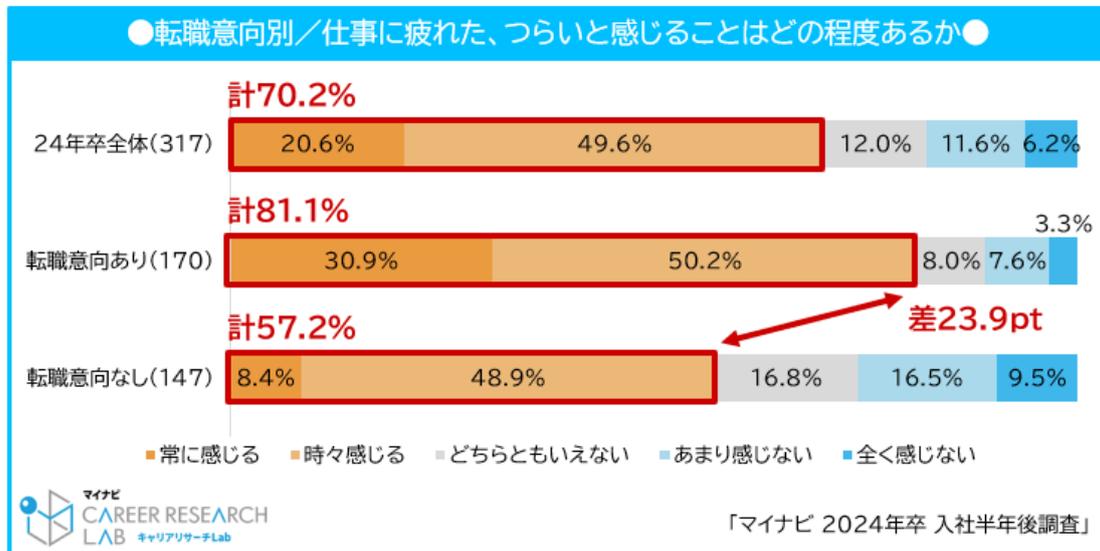
今後の転職意向について聞くと、転職意向がある割合は 54.2%で、23 年卒の 57.2%から 3.0pt 減少した。「仕事に疲れた、つらい」と感じることを聞くと、全体で 70.2%が「感じる(常に+時々)」と回答した。これを転職意向の有無で比較すると、転職意向なしのグループでは 57.2%なのに対し、転職意向ありのグループでは 81.1%と、23.9pt の差があった。

また、仕事に疲れを感じる理由を聞くと、24 年卒全体で最も多かったのは「仕事量が多い(41.1%)」だった。転職意向の有無で最も差が開いたのは「働く時間が長い」で、転職意向なしのグループでは 18.0%であるのに対し、転職意向ありのグループでは 35.7%と 17.7pt 差となり、長時間の勤務は仕事疲れや、転職意向に繋がる可能性が示唆される。【図 9、10、11】

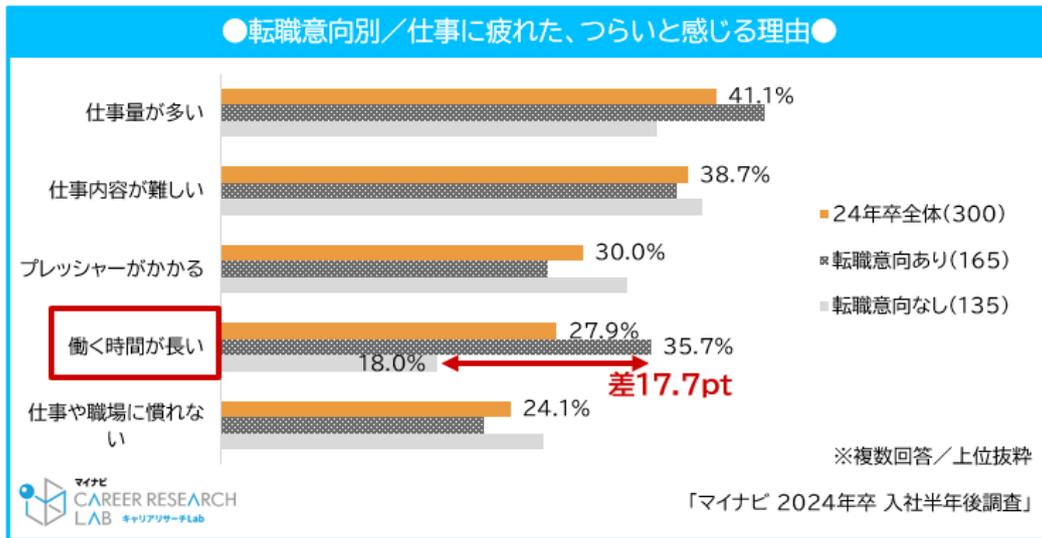
【図 9】



【図 10】



【図 11】



【調査担当者コメント】



新卒採用担当者や、新入社員を受け入れ、指導する立場にある上司や先輩の方々は、今年の新入社員の成長や組織への定着、今後の活躍に期待をされていることと思います。昨今のキャリア形成活動の活発化により、2024年卒の新入社員の2人に1人が現在の勤務先のインターンシップ・仕事体験に参加していたことがわかりました。また複数日程参加したり、より実務に近い体験をしたりしている人ほど、入社後の満足度が高いようです。いまやインターンシップ・仕事体験は企業認知・理解のため取り組みであるだけでなく、オンボーディング施策の1つとも言えるのではないのでしょうか。今年の新社会人の選ぶ漢字は「学」となりました。学生時代からインターンシップ・仕事体験などを通じて、仕事やキャリアについて学んできた世代ですが、より一層の学びを深めながら、社会で活躍してほしいと思います。

マイナビキャリアリサーチラボ 主任研究員 井出 翔子

【調査概要】「マイナビ 2024年卒 入社半年後調査」

- 調査期間／2024年10月25日(金)～2024年10月31日(木)
- 調査方法／WEB上のアンケートフォームより入力
- 調査対象／2024年卒業予定として就職活動を行い、その状況をモニター調査で回答した方を対象とした追跡調査
- 調査機関／自社調べ
- 有効回答数／398名(文系男子73名 文系女子109名 理系男子104名 理系女子112名)
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。
- ※調査結果の詳細はこちら  
([https://career-research.mynavi.jp/reserch/20241211\\_89761/](https://career-research.mynavi.jp/reserch/20241211_89761/))からご確認いただけます。

「働く」の明日を考える マイナビキャリアリサーチ Lab



『マイナビキャリアリサーチ Lab(ラボ)』は、雇用や労働に関連する様々な調査データやレポートを通じて、雇用の在り方や個人のキャリアを考える上で役立つ情報を提供するサイトです。蓄積してきた調査結果、新たに分析した雇用関連のレポート・コラム、市場データといった情報の提供を行い、組織と個人をつなぎ、社会全体でキャリアの在り方を考える一助を担います。

【お問い合わせ先】 株式会社マイナビ 社長室 広報部 三木 Email:[koho@mynavi.jp](mailto:koho@mynavi.jp)